

レクリエーション農園大もて



土に親しみ家族で農作物づくりをしよう—と市は荒廃農地を借りて「レクリエーション農園」の開園をすすめてきましたが、このほど77家族が抽選で“入植”しました。

11月1日から始めたばかりですが、それでも9日におこなった広見北地区収集のときには、鉄缶がミカン箱100、アルミ缶が5杯、びんは2,000本もありました。

これが1ヵ月まとまればもっと増えるのではないのでしょうか。

この自主的な分別収集により広見地区では、市が行っている不燃物収集量が、いままでと比較してずっと少なくなることが予想されます。

より分別を徹底したいね



広見コミュニティー

生活環境部長 大塚禎三さん

分別収集をやろう、といいはじめたのは婦人会なんです。

生活環境部としてさっそく地区のみなさんに協力してもらおうと、説明会を開いたり、チラシを配りました。反対意見もあったが、良いことだからさっそくやりましょうという人が圧倒的でしたね。

これからも、より分別を徹底していきたいと考えています。

市内に初めて登場したレクリエーション農園は、伝法小潤井川沿にある荒廃農地。広さは1,540平方メートル。これを一区画20平方メートルずつ77区画にわけ、菜園づくりを希望している市民に提供するもので、年間の入園料は2,000円。

去る9月に一般募集したところ、定員の3倍にもものぼる229人が応募、担当の市農業委員会もこの人気にびっくり。

応募した人たちは、ほとんどが会社の寮やアパートに住むサラリーマンで、年齢は30～40代が大半。

利用者の中には、野菜作りは初めてという人もおり、市では肥料の施し方や栽培方法などの講習会を開くことも検討しています。

また好評にこたえて、年度内に1、2ヵ所開園する予定です。

この頃は天気が気になるよ

楽しみなもんですね。この頃は天気が気になるようになったね。

私たちはマンション住まいで、土にふれる機会がなかったから、なおのこと感じますね。

それにしても、お百姓は大変だなあということがよくわかったよ。

まあ手はかかるし買った方が安上りだけど、夫婦で手がける野菜作りは楽しみなもんですよ……。



長浜和重さん(52歳)

平垣本町



緑地公園のトイレが

粗末すぎないか

(おたずねします) 毎週富士川緑地公園に出かけている者です。

日曜日ともなれば、運動する人でいっぱいになる公園。ここに来ていつもトイレの設備不足を感じます。

私の見た限りでは移動式トイレが、2基置いてあるだけで非常に粗末です。

市民のスポーツ広場として造ったものなら、トイレぐらいは完全なものにできないでしょうか。また、公園内に案内板もほしいと思います。

(一市民)

(おこたえします) ご指摘のトイレは、現在、富士川緑地公園内に5

基設置してありますが、潮風が強いので耐久性が悪く、補充をと考えているところです。

管理については、巡回点検をして汚れているときは清掃をしていますので市民のみなさんも汚さないようご協力をお願いいたします。

なおトイレなどについては、河川法で固定式のものは制限されており移動式か、取はずし式でないとい設置できないことになっていますのでご了承ください。案内板については、来年設置する予定です。

(市みどりの課)